

コロナ禍における子育て支援活動の実践

(担当：子ども家庭部子ども家庭支援課西新宿児童館)

事業の背景・目的

〇子育て支援の重要性

感染拡大防止で二ヶ月間休館する事態となった後、児童館を再開した当時のことです。一組の親子が児童館前の道路を行ったり来たりしていました。挨拶をきっかけに声をかけると、児童館を利用していいのかわからず悩んでいたとのことでした。まずは館内へご案内し、その後ゆっくりお話を聞くと、感染の恐怖、子育ての不安、相談相手がいない現状に心を悩ませ、見えない不安が涙と一緒に溢れました。いつでもどうぞとお伝えすると、話せる場所ができたことにとっても安心をされていました。見えない不安は、子育てへも大きく影響を及ぼしていました。地域の子育て活動拠点として機能するため、感染対策を徹底した上で、「寄り添い・話を聞き・共感すること」は私たち児童館職員の重要な使命であると感じました。また、保護者同士の交流が難しい状況下においては、児童館活動をきっかけに、地域の子育て情報を個別に繋いでいくことが求められていると考えました。

事業の概要

企画名	実施場所	実施頻度	職員体制	実施方法
プレイタイム (ベビー)	プレイルーム	毎週木曜日 10時00分～10時45分 ※祝日は除く	乳幼児担当3名(常勤1名、非常勤2名)	最大参加人数8組16名 受付予約制 親子遊び、制作
プレイタイム (キッズ)	プレイルーム	毎週木曜日 11時00分～10時45分 ※祝日は除く	乳幼児担当3名(常勤1名、非常勤2名)	最大参加人数8組16名 受付予約制 親子遊び、制作
つくってあそぼう	乳幼児専用室	利用時間内 予約制	乳幼児担当1名(常勤)	希望予約制 親子制作
すくすくあんよ	乳幼児専用室	利用時間内 予約制	乳幼児担当1名(常勤)	希望者予約制 身体測定、手形
おしゃべりタイム	乳幼児専用室	利用時間内 予約制	乳幼児担当1名(常勤)	希望者予約制 育児相談

工夫点・留意点

○地域の子育て支援団体「Hugmum はぐまむ」との連携

プレイタイムの時間を活用して個別の「先輩ママによる育児相談会」を行いました。地域の遊び場、保育園や幼稚園の様子、育児に関するお悩み相談等、地域の保護者の方だから知っている子育て情報に、参加者の方々は「とても参考になった」と感想を述べられていました。児童館が地域の保護者同士の交流の拠点として機能していけるよう、今後も継続した協力を行いたいと思います。

○環境設定の工夫

部屋の広さに合わせた利用人数や過ごし方の基準、換気・消毒の徹底など、新しい日常様式に則った児童館活動の設定を行いました。地域掲示用のおたよりへは、児童館のホームページに繋がるQRコードを掲載し、地域の皆さまがスマートフォンなどからでも簡単にアクセスできる工夫を施しました。児童館を身近に感じ、安心して利用していただくために、そうした取り組みを情報発信し、まずは知っていただく取り組みを行いました。

事業の効果

「プレイタイム」では、個人での利用が中心となる中で、児童館を中心とした保護者ネットワークを築くことができました。「つくってあそぼう」では親子制作を通して手作りの楽しさを感じることができました。「すくすくあんよ」では、職員による身体測定を実施し、お子様の成長を継続的に確認できる取り組みを行いました。「コロナ禍において子どもの成長確認がなかなかできずとても不安だった」との保護者からの話しに、児童館での対応が安心に繋がる成果となりました。「おしゃべりタイム」では、子育て中の保護者の方々との関係性を深め、子育てに関する疑問や悩みを話せる機会となりました。

課題・今後の展開

子育て支援事業においては、新しい日常様式に則り、親子単位で楽しめる活動を中心に実施していくとともに、安心・安全な居場所を提供できるよう環境整備等をしっかり行っていきたいと思います。また、子育てに関する悩みや疑問を共有し、保護者の心に寄り添いながらお話を聞く事で、明るく前向きな気持ちを持って子育てができるよう継続した支援を行いたいと思います。